

各機関の取組状況について

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目		北陸地方整備局		長野地方気象台		長野県		長野市		松本市		上田市		須坂市		
事項	内容	目標時期	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定	H28年度取組状況	H29年度取組予定
1. ハード対策の主な取組																
■洪水を河川内で安全に流すための対策																
	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策	引き続き実施	・堤防整備を実施 ・漏水対策を実施 ・河道掘削を実施	・堤防整備を実施 ・漏水対策を実施 ・河道掘削を実施												
	・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保	引き続き検討	・ダムの有効活用検討	・ダムの有効活用検討												
■危機管理型ハード対策																
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	H28年度から順次整備	・堤防天端の保護を実施 ・堤防裏法尻の補強を実施	・堤防天端の保護を実施 ・堤防裏法尻の補強を実施												
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備																
	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	H28年度から検討	・対空標示(ヘリサイン)の設置	新技術を活用した水防資機材の検討												
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	H28年度から順次整備	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置			平成28年度は量水標を7基更新予定	引き続き実施予定								
2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取り組み																
■情報伝達、避難計画等に関する取組																
	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	引き続き実施	・緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信の検討(H29.5運用開始予定)	・緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信の実施(H29.5運用開始)			・長野県河川砂防情報ステーションについて、より住民目線のシステムにするべく今年度からリニューアル予定	引き続き実施予定	平成28年4月から長野市総合防災情報システムの運用を開始し、登録型防災メール、Twitter、FAXなどで水位、気象、避難等の情報をプッシュ型配信を実施済み	引き続き実施			・緊急速報メール、市メール配信サービス、ホームページやSNSの活用等を実施。	・緊急速報メール、市メール配信サービス、ホームページやSNSの活用等を実施予定。	・区長会、市報等で市メールマガジン登録の案内を実施。 ・ヤフーが提供するスマホアプリ「Y!防災速報」への配信開始	・市登録制メールの啓発、活用(通年) ・SNSの活用 ・「Y!防災速報」の活用
							・千曲川・犀川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有【H28.8～】	引き続き実施予定	既存の同報系防災行政無線の保守・点検を実施。併せて、デジタル化に向け、庁内で検討し、平成34年度の整備完了に向けて基本方針決定済み	保守・点検については引き続き実施。デジタル化については、調査、設計業務実施予定	梓川地区・波田地区デジタル化へ更新作業中(H30年度目途)	梓川地区・波田地区デジタル化へ更新作業中(H30年度目途)	新たな情報伝達手段の整備に向けた検討。	新たな情報伝達手段の整備に向けた検討。	デジタル化に向け、設置業者を選定	・デジタル化に向け、設置業者を選定 ・防災行政無線のデジタル化(～H34年11月末まで)
									平成28年4月から長野市総合防災情報システムの運用を開始し、防災ポータルを用いて、水位情報を随時、配信し、共有化を実施済み	引き続き実施			・河川管理者が提供している河川砂防情報ステーションの活用。	・河川管理者が提供している河川砂防情報ステーションの活用。	共有の手段の確立【住民】登録メール、HP、SNS、スマホアプリ、同報系無線 【外部関係機関】県防災情報システム、FAX	・水位情報の共有
	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	順次実施	沿川自治体のタイムライン整備(H29.5迄完成予定)	沿川自治体のタイムライン整備(H29.5迄完成予定)	・自治体訓練への参加や支援	・自治体訓練への参加や支援【継続】	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の順次整備を検討	順次整備			タイムライン(素案)の作成検討開始	引き続きタイムラインの作成検討を行い、H29年6月の出水期までに完成予定。	・避難勧告を発令するためのタイムライン(案)の策定。【H28.7】	・避難勧告を発令するためのタイムラインの整備と検証。	千曲川河川事務所と協議中。	・避難勧告の発令等に着目したタイムライン(台風・前線)の作成
	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	順次実施	長野市洪水タイムラインのL2版作成支援	長野市洪水タイムラインのL2版作成支援	長野市洪水タイムラインのL2版作成支援	・広域的な連携に資するタイムライン作成【～H30年度】	・広域的な連携に資するタイムライン作成【～H30年度】	・広域的な連携に資するタイムライン作成【～H30年度】	平成28年5月31日に公表された千曲川・犀川に係る想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域を受けて、長野市洪水タイムライン改正を検討	改正後の長野市洪水タイムラインを運用し、必要に応じて随時見直し	・広域的な連携に資するタイムライン作成を検討する【～H30年度】	・広域的な連携に資するタイムライン作成を検討する【～H30年度】				

-2-

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目	内容	目標時期	北陸地方整備局		長野地方気象台		長野県		長野市		松本市		上田市		須坂市	
			H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定
■情報伝達、避難計画等に関する取組																
④	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	H28年度から順次実施	千曲川・犀川の想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の公表(H28.5)	・浸水想定区域図の公表(済) ・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーション(浸水ナビ)の公表(H29年度中の公表を予定)			・県管理河川の内、洪水予報河川等34河川について平成28年度は2河川で作成予定 同上	引き続き実施予定 同上								
⑤	立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	H28年度から順次実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表(H28.5)	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表(済)			・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供をH28年度から順次実施	引き続き実施予定	千曲川・犀川に係る想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域図等を基とした、防災アセスメント調査を実施	防災アセスメント調査結果を踏まえて、想定最大規模浸水想定に係る避難計画を検討	ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	災害種別ごとの避難所を記載したハザードマップを全戸配布予定	ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	ハザードマップの更新時に検討を実施。	・ハザードマップの更新 ・町別地域防災マップ作成支援
⑥	参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	H28年度から検討	避難計画の参考となる情報の提供	避難計画の参考となる情報の提供	・広域避難計画に関する支援	・広域避難計画に関する支援【継続】	浸水想定区域図作成後から検討	同左	長野地域連携中核都市圏(長野ブロック内)で、備蓄状況の共有など、広域避難計画について検討を行った。	引き続き検討	・隣接市町村における避難場所の設定は実施しない(河川を跨ぐ避難になり避難経路が危険であるため)	・隣接市町村における避難場所の設定は実施しない(河川を跨ぐ避難になり避難経路が危険であるため)	・広域避難計画に関して検討を開始。	・広域避難計画に関して検討	長野県市町村災害時相互応援協定に基づき検討中。	・長野地域連携中核都市圏の市町村を対象とし検討
⑦	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	H28年度から順次実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進					想定最大規模降雨に係る浸水想定区域図が公表になり、避難先、避難方法等について、広域避難も含めて検討中。 洪水ハザードマップについては、次年度以降、検討を開始	引き続き検討	・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの見直し中	更新したハザードマップを全戸配布予定	・平成28年3月にハザードマップ作成し、市内全戸配布により周知。 ・平成28年5月の浸水想定区域の見直しに伴い、平成28年9月に新たな浸水想定区域等を示した千曲川洪水ハザードマップを全戸配布により、周知。	・平成28年に全戸配布したハザードマップを利用し、出前講座で更新の周知を実施する。	ハザードマップを作成。29年度配布予定	・ハザードマップの更新、配布
⑧	水位予測の検討及び精度の向上	H28年度から検討	・洪水予測(水位予測)精度向上の検討	・洪水予測(水位予測)精度向上の検討			・県内4河川において実施中	・県内4河川において実施中								
⑨	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	H29年度から実施			「危険度を色分した時系列」「警報級の可能性」については、防災情報提供システムにおいて試行的に実施。土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示改善を実施。 記録的短時間大雨情報の迅速化を実施。平成29年度出水期からを予定している大雨警報(浸水害)、洪水警報等の改善に向けて、基準見直し等の作業を実施	「危険度を色分した時系列」「警報級の可能性」の運用開始予定。大雨警報(浸水害)、洪水警報等の改善、危険度分布(メッシュ情報)の提供予定。 【H29年出水期実施予定】										

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目		北陸地方整備局		長野地方気象台		長野県		長野市		松本市		上田市		須坂市			
事項	内容	目標時期	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定			
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																	
	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	順次実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施	・重要水防箇所等の共同点検を出水期前に実施	・共同点検に参加していく	・共同点検に参加していく【継続】			毎年、河川管理者、長野市、地域住民などで、出水期前に、共同で実施する重要水防箇所等点検に参加	引き続き参加	平成28年5月11日、12日に実施済	出水期前に実施予定(例年5月頃)	・河川管理者と地域住民で重要水防箇所等の千曲川合同巡視を実施した。	・河川管理者と地域住民で重要水防箇所等の千曲川合同巡視を実施する。	29年度重要水防箇所点検に住民の参加を検討中。	重要水防箇所点検に住民の参加を検討	
	②小中学校等における水防災教育の実施	引き続き実施	・長野市内中学生体験学習受け入れにより水防災教育を実施	・要望に応じて体験学習受け入れによる水防災教育を実施	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。【継続】	小中学校等における水防災教育の実施	小中学校等における水防災教育の実施	市内小中学校等から、長野市防災対策本部室の見学要請があった際に、水防も含む防災対策全般について啓発・教育を実施	引き続き実施	・出前講座の継続した開催【継続】(H27年度は5回実施)	・出前講座の継続した開催を引き続き実施予定	・出前講座を活用し、小中学生に防災に関する説明を実施。	・出前講座を活用し、小中学生に防災に関する説明を実施する。	水防災教育に関しては未実施。	小中学校と連携した出前講座の実施を検討	
	③出前講座等を活用し、水災害に関する説明会を開催	H28年度から実施	・上田市の要請により水災害に関する講習会を実施	・要望に応じて水災害に関する講習会を実施	県内報道3社に対して防災情報利活用に関する勉強会を実施	・報道機関を対象に防災気象情報の利活用に関する出前勉強会を実施する。【継続】			地区、各種団体等へ、要請に応じて「防災対策について」をテーマに随時、出前講座を実施。併せて、平成28年度においては、各地区で実施した市民会議においても、防災啓発を実施した。	出前講座での防災啓発を引き続き実施	消防団や自主防災組織等を対象にした実施については今後検討する【H29年度～】	消防団や自主防災組織等を対象にした実施について検討予定	出前講座を活用し、水災害に関する説明を実施。	出前講座を活用し、水災害に関する説明を実施。	防災会議のみに実施	防災会議のみに実施	
	④まるごとまちごとハザードマップを整備	順次実施	・長野市長沼地区のまるごとまちごとハザードマップへの情報提供及び整備支援	まるごとまちごとハザードマップを実施する自治体に対して、情報提供及び整備支援		【H29年度新規追加】 ・県、自治体職員を対象に、防災気象情報の利活用に関する講習会を実施			・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供を順次実施			・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討する【H28年度～】	・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討	・まるごとまちごとハザードマップの整備の検討を開始	・まるごとまちごとハザードマップの整備の検討	未実施	検討中
	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	・SNS(フェイスブック)を活用した水防災に関する広報	・SNS(フェイスブック)を活用した水防災に関する広報	長野県が主催する市町村防災担当者会議等で防災情報の利活用について説明	・長野県が主催する研修会等に参加、防災気象情報利活用の啓発に努める【継続】	出前講座を順次実施	同左	各地区自主防災組織が実施する地域防災マップ作成時に、支援を行った。また、長野市「減災の手引き」を修正・増刷し、市民に対する防災啓発を実施	引き続き実施	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援【継続】	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援を継続予定	・自主防災組織リーダー研修会・出前講座を実施し、住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図っている。	・自主防災組織リーダー研修会・出前講座を実施し、住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図る。	自主防災組織や、ボランティア団体に出前講座を実施。	・防災講演会や出前講座で、住民の防災意識と、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実を図る	
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	順次実施					危機管理部で順次実施	同左	平成28年6月4日(土)に実施した、平成28年度長野市水防訓練に 住民自治協議会 に参加いただき、住民簡易工法、同報無線取扱い訓練、ハザードマップによる浸水危険地域の確認を行った。	引き続き実施	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援【継続】	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援を継続予定	・自主防災組織リーダー研修会を通じて、組織の育成・強化を図っている。	・自主防災組織リーダー研修会を通じて、組織の育成・強化を図る。	自主防災組織宛に、講座、セミナー等の案内を送付した。市総合防災訓練において参加を依頼	・自主防災組織の活用 自主防災組織宛に講座、セミナー等の案内を送付。 市総合防災訓練への参加を依頼	
	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	H28年度から検討							避難先、避難方法も含め、避難誘導について検討を実施。	引き続き検討	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成を検討予定【H28年度～】	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成を検討予定	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの検討。	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの検討。	各自自治会の自主防災組織へ避難計画の作成を依頼。	各自自治会で設置している自主防災組織による避難計画の検証	

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目		北陸地方整備局		長野地方気象台		長野県		長野市		松本市		上田市		須坂市				
事項	内容	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定			
2. ソフト対策②避難時間確保のための水防活動の取り組み																		
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																		
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	引き続き実施	・洪水対応演習の実施	・洪水対応演習の実施	洪水対応演習へ参加及び協力	情報伝達訓練への支援【継続】	・情報伝達訓練の実施【引き続き実施】	・情報伝達訓練の実施【引き続き実施】	平成28年8月に長野市総合防災訓練を実施し、訓練の中の一環として情報伝達訓練を実施。また、タイムラインを活用した訓練については、L2公表により、タイムラインそのものの改正が必要になったため、訓練未実施	長野市洪水タイムラインの活用も含めた訓練の実施について検討	千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会への参加	千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会への参加を継続予定	・河川管理者と市、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加を検討する。	タイムラインの活用を含め、情報伝達訓練の実施を検討。	タイムラインの活用を含め、情報伝達訓練の実施を検討。	・情報伝達にあつては、日頃の業務の中で情報伝達に使用するシステムで訓練を実施した。	・情報伝達にあつては、日頃の業務の中で情報伝達に使用するシステムに精通しておく。	・須高三市町村の消防団員による水防訓練を予定
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	引き続き実施	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を実施	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を実施	・河川事務所が実施している共同点検に参加していく	・河川事務所が実施している共同点検に参加していく【継続】	・重要水防箇所の情報提供、共同点検を順次実施	同左	毎年、河川管理者、長野市、地域住民などで、出水期前に、共同で実施する重要水防箇所等点検に参加	引き続き参加	・重要水防箇所の合同巡視【H28年度5月11日12日済】	・重要水防箇所の合同巡視(例年出水期前の5月頃)実施予定	・河川管理者と地域住民で重要水防箇所等の千曲川合同巡視を実施した。	・河川管理者と地域住民で重要水防箇所等の千曲川合同巡視を実施予定。	・国、県、市、水防団(消防団)による重要水防箇所の現地調査及び検討会を4月19日に実施した	・国、県、市、水防団(消防団)による重要水防箇所の現地調査及び検討会を予定視察に住民参加を検討する		
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	引き続き実施	・洪水対応演習の実施	・洪水対応演習の実施			毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を引き続き実施	同左	消防局、水防団、市職員、河川管理者、自主防災組織等の関係機関と合同で、平成28年6月4日(土)に水防訓練を実施した。	引き続き実施	消防団(水防団)訓練にあわせて実施検討する【H29年度～】	消防団(水防団)訓練にあわせて実施検討予定	・年1回開催している「上田市防災訓練」の中の1つの訓練として実施した。	・年1回開催している「上田市防災訓練」の中の1つの訓練として実施予定。	市総合防災訓練に併せて水防団(消防団)、自主防災組織と合同で実施している	市総合防災訓練に併せて水防団(消防団)、自主防災組織と合同で実施予定		
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																		
	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	引き続き実施							信州消防団員応援ショップ及び消防団協力事業所の登録店舗、登録事業所の推進を図り、消防団員(=水防団)の活動環境の整備を図るとともに、入団促進に取り組んだ	引き続き実施	・水防団員や消防団員の募集の強化【継続】	・水防団員や消防団員の募集の強化を継続予定	・年間通じて、消防団員(水防団員)を募集。	・年間通じて、消防団員(水防団員)を募集。	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を随時実施している。	・水防活動の担い手となる消防団員を随時募集		
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加			・水防技術講習会に参加	同左	消防局、水防団、市職員、河川管理者、自主防災組織等の関係機関と合同で、平成28年6月4日(土)に水防訓練を実施した。	引き続き実施	・消防団(水防団)訓練にあわせて実施【継続】	・消防団(水防団)訓練にあわせて実施を継続予定	・県主催で2年に1度開催している建設事務所職員の指導により、実施。	・須高消防協会主催による水防訓練で建設事務所職員を講師にしている。	H29年度予定の水防訓練に建設事務所職員を講師に予定			
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討			・道路状況も踏まえ設置済み	同左	出水期前に、各水防倉庫の備蓄資器材の点検、整備を実施した。また、平成28年6月4日(土)に実施した水防訓練において、備蓄資器材を実際に使用した。水防倉庫の配置計画については、予算的な部分も踏まえて検討し、現状維持とした。	水防資器材の点検・整備については引き続き実施。水防倉庫の配置計画については、予算的な部分も踏まえて検討し、現状維持とする。	・未実施	・物資集積拠点(島内)の検討実施の継続	来年度より検討	老朽化している水防倉庫の建替えや効果的な場所への移設設置を検討	水防倉庫の改築を29年度からの実施計画を検討した	水防倉庫を改築予定		
	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	引き続き整備									・各連合町会長及び各水防団(消防団)に配備済							

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目		目標時期	北陸地方整備局		長野地方気象台		長野県		長野市		松本市		上田市		須坂市	
事項	内容		H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																
	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	H28年度から順次実施	・技術的助言を行う	・技術的助言を行う					要配慮者利用施設の避難確保計画について、施設から計画策定の助言を求められた時は、資料を用いて説明し、計画策定を支援した。	引き続き支援	・施設内に屋内戸別受信機(無線)を設置して情報伝達に努めている【済】		・要配慮者利用施設の関係者との緊急連絡体制の整備。	・要配慮者利用施設の関係者との緊急連絡体制の整備。		
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	H28年度から実施	・技術的助言を行う	・技術的助言を行う				・技術的助言を順次実施	同左							
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み																
■救援・救助活動の効率化に関する取組																
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援			危機管理部で締結済み		防災活動拠点施設については、長野市災害対策本部機能を有する長野市第一庁舎開庁(H28.1.4)をはじめ、拠点機能を果たすための点検、整備を実施。大規模災害時における広域支援拠点の検討については、「長野県市町村災害時応援協定」に基づき、検討を実施。	引き続き検討	・移動系及び同報系無線の操作卓を庁舎外(市民芸術館2F)に設置済(もう1カ所は庁舎1Fに設置)		・市役所本庁舎3階に自家発電設備を設置するなど、水害時の機能確保できるような対策済み。	・市役所本庁舎3階に自家発電設備を設置するなど、水害時の機能確保できるような対策している。【H28年度済】	長野県市町村災害時相互応援協定に基づき検討中。	長野県市町村災害時相互応援協定に基づき検討
	②排水計画案の作成及び排水訓練の実施		・排水ポンプ車の最適配置計画の検討	・排水ポンプ車の最適配置計画の検討			・県有排水ポンプ車を県内に3台配置。排水ポンプ車の操作訓練を引き続き実施	同左	平成28年度においては、可搬式ポンプ1台を柳原地区に新たに配備した。	平成29年度においても、可搬式ポンプ1台を新たに配備予定。	・各消防団(水防団)に整備されたポンプ等の資機材を利用【済】		・6月～10月にポンプ1基(リース)を設置。地元自治会で月1回、操作している。	・6月～10月にポンプ1基(リース)を設置。地元自治会で月1回、操作する予定	9月20日～21日 相之島排水機場運転	・排水機場による支川排水を実施
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	引き続き実施	水防連絡会にて連絡体制を確認	水防連絡会にて連絡体制を確認			連絡体制の整備を引き続き実施	同左	出動要請の連絡体制整備については、現在のところ未整備。(今後、各河川上下流部の特徴、浸水想定区域等を踏まえ、体制整備を進める)	引き続き、検討を進める。	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備	連絡体制の整備	必要に応じ千曲川河川事務所に要請。	必要に応じ千曲川河川事務所に要請。
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	・長野市総合防災訓練に参加	・自治体の実施する防災訓練への参加			関係機関が連携した排水実働訓練を実施する	同左	平成28年8月に実施した長野市総合防災訓練において、関係機関参加のもと、ポンプ車	引き続き、実施予定						

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		中野市		大町市		飯山市		千曲市		安曇野市		生坂村		池田町	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
1. ハード対策の主な取組															
■洪水を河川内で安全に流すための対策															
	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策 ・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保														
■危機管理型ハード対策															
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強														
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する															
	①新技術を活用した水防資材の検討及び配備														
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置														
2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の大															
■情報伝達、避難計画等に関する取組															
	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	・地域で開催する講座等を活用し、周知活動を行った。 ・聴覚障がい者向け説明会を実施し、機器の特徴等について説明した。 ・貸与希望意向調査を実施した。	・地域住民が計画する講座等を活用し、周知活動を行う。 ・聴覚障がい者に対し、文字情報表示機能付き戸別受信機を貸与し、緊急情報等の情報伝達手段を強化する。 ・登録制メールやヤブー防災情報などを活用し、洪水予測情報を共有できるよう取組む。	・市緊急情報メール(事前登録型)、エリアメールを配信 ・川の防災情報からの情報利用	・市緊急情報メール(事前登録型)、エリアメールを配信 ・長野県防災情報システム、川の防災情報からの情報利用	H29年度基本設計着手予定	H29年度基本設計着手予定	災害時にメール配信サービス、緊急速報メールの使用	災害時にメール配信サービス、緊急速報メールの使用	・コミュニティエフエム放送の電波を活用した緊急告知機能付き防災ラジオ導入を計画(H29.8月運用開始に向けた準備を開始)	・コミュニティエフエム放送の電波を活用した緊急告知機能付き防災ラジオを導入し、8月から運用を開始するこれにあわせて防災ラジオの購入に係る経費の一部について補助金を交付する	防災行政無線、緊急速報メールを活用	防災行政無線、緊急速報メールを活用	・防災行政無線のデジタル化【済】	登録者が増加するよう周知を進める
	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・タイムラインの作成に着手し、平成29年6月をめぐりに完了する。	・出水期前を目途にタイムラインを整備する。	・既存マニュアルをベースに作成予定	・タイムライン作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成済み。今後避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証【H28年度～】	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成済み。今後避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証【H29年度～】	タイムラインの整備	作成済	6月29日に作成し千曲川河川事務所に提出するとともに庁内関係課と手順を確認した	タイムラインの検証と改善を実施する	タイムラインの検証	・タイムラインの改善	未実施	タイムライン作成予定
	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	・タイムラインの作成に着手し、平成29年6月をめぐりに完了する。	引き続き検討する。												

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		中野市		大町市		飯山市		千曲市		安曇野市		生坂村		池田町	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
■情報伝達、避難計画等に関する取組															
	④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	・防災ガイドブックを発行する。平成29年3月末市民向け配布予定。	・3月に防災ガイドブックを全戸に配布したが、転入者に対しても市民課窓口で配布し周知を図る。												
	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	今後、検討予定	・関係機関等と相談しながら検討する。			ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	実施なし	・30年度作成に向けて検討	立ち退き避難については今後も検討していく	立ち退き避難について検討する	担当課で検討中	引き続き検討予定	ハザードマップの更新の中で進めている(避難所の見直しなど)	ハザードマップの周知を図る
	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・隣接市町村と広域避難計画に関する研究に着手する。	・隣接市町村と広域避難計画の具体的検討を行う。			・木島平村への避難場所設置協定締結済み	想定最大規模の浸水想定区域の検証と近隣市町村との避難所の連携の検討。	実施なし	・河川事務所において調整願いたい。	現在、庁内で検討中	庁内で検討する	今後検討予定	今後検討予定	未実施	広域避難計画に関して協議・検討
	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	・防災ガイドブックを発行する。平成29年3月末市民向け配布予定。	・3月に全戸に配布した防災ガイドブックを市ホームページに掲載する。			・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新作業に着手	・洪水浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新作業に着手	実施なし	・河川事務所において調整願いたい。 ・30年度作成に向けて検討	市ホームページに千曲川河川事務所ホームページへのリンクを張った。ホームページ版の新たな洪水ハザードマップは作成中で年度内に公表予定	ホームページ版の想定最大規模降雨の洪水ハザードマップを作成して公表する	ハザードマップの更新・周知の検討	ハザードマップの更新・周知の実施予定	ハザードマップの更新を進めている	4月ごろハザードマップも掲載予定のくらしの便利帳を各戸配布予定。各自主防災会には大きく印刷したハザードマップを配布予定。
	⑧水位予測の検討及び精度の向上														
	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善														

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		中野市		大町市		飯山市		千曲市		安曇野市		生坂村		池田町	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
■平時から住民等への周知・教育・訓練に															
①	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	・例年どおり地域住民と関係団体が参加し、合同巡視を実施した。	・地域住民と関係団体が参加する合同巡視を実施する。	・防災会議(水防協議会を兼ねる)で重要水防区域の確認、見直しを実施	・防災会議(水防協議会を兼ねる)で重要水防区域の確認、見直しを実施	・今後の検討課題	・今後の検討課題	実施なし	・河川事務所と消防団で重要水防箇所等の共同点検を実施。【H29年度～】	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施【H28年5月10日実施済】		重要水防箇所等の合同巡視を実施	重要水防箇所等の合同巡視を実施	未実施	河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。
②	小中学校等における水防災教育の実施	・教育委員会と児童・生徒対象の防災講座実施の研究を実施	・教育委員会と連携した児童・生徒を対象とした防災講座を実施する。	・県建設事務所・砂防事務所の協力で土砂災害に関する実施(定期的ではない)	・高瀬渓谷フェスティバルへの参加、PR	・小中学校と連携した出前講座は検討中	・小中学校と連携した出前講座は検討中	水防災教育は実施なし	・学校側からの要望や機械があれば実施	・出前講座の継続した開催【H20年度～継続】	・出前講座の継続した開催【H20年度～継続】	・出前講座の実施を検討	・出前講座等の実施を検討	未実施	出前講座等を利用しての開催を予定
③	出前講座等を活用し、水災害に関する説明会を開催	・住民からの希望を受け、平成28年12月までに11回講座を実施した。	・中野まなびい塾により住民に対し水害等に関する講座を実施する。	未実施	検討中	小中学校との連携も含め今後の検討課題	小中学校との連携も含め今後の検討課題			各地域の自主防災会議において浸水想定区域について説明を行った	地域自主防災会議において浸水想定区域について説明を行う			29年3月に町主催の講演会実施予定	29年度も引き続き実施予定
④	まるごとまちごとハザードマップを整備	・ハザードマップの見直しに係る研究に着手した。	・ハザードマップの見直しについて検討。			・ハザードマップの更新に合わせて検討する	・ハザードマップの更新に合わせて検討する	実施なし	・地域要望があれば実施	・まるごとまちごとハザードマップのハザードマップの整備を検討【H28年度～】	・まるごとまちごとハザードマップのハザードマップの整備を検討【H28年度～】	・ハザードマップの更新の際に検討	引き続き検討予定	ハザードマップの更新を進めている	4月ころハザードマップも掲載予定のくらしの便利帳を各戸配布予定。各自主防災会には大きく印刷したハザードマップを配布予定。
⑤	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・防災ガイドブック等を活用し、住民意識の向上を図る。	・防災ガイドブック等を活用し、住民意識の向上を図る。	・水防期間にあわせ、広報への掲載	・水防期間にあわせ、広報への掲載	・107自治会のうち100自治会が組織化している	・107自治会のうち100自治会が自主防災組織が組織化しているため、情報提供を行う。	総合防災訓練において住民参加型の水防訓練	総合防災訓練において住民参加型の水防訓練	市民約300人を対象に防災講演会を開催した。また、出前講座は昨年度18回であったが、今年度末には51回開催の予定である	7月9日に市民を対象に防災講演会を開催する。出前講座を周知し積極的に開催する市職員を対象に研修会を実施する	避難訓練や医療救護訓練の実施	避難訓練や医療救護訓練の実施	未実施	講習会の実施等を検討
⑥	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	・補助申請者に対し、補助金交付した。	・自主防災組織防災活動支援事業補助金交付による活動支援を行う。	・97自治会中88自治会が組織化	・全自治会が組織化するよう引き続き呼びかけ	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援【継続】	・自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援【継続】	自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援を実施	自主防災組織防災活動支援補助金制度による活動支援を実施	今年度は56組織に補助金を交付した。現在、庁内で検討中であるが、穂高地域の自主防災会議では水害分科会を設置し対応を検討している	自主防災組織が行う防災活動に必要な経費に対して補助金を交付する。穂高地域自主防災会議の水害分科会を充実させる	・自主防災組織の育成、強化	自主防災組織の強化	自主防災会の活用・組織強化を進めている。	引き続き継続予定
⑦	避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	・マニュアル作成に係る研究に着手した。	・マニュアル作成に係る研究を行う。	未実施	・集会所用大型マップ作成	ハザードマップに避難先を明示し広報している。避難誘導マニュアルは未作成	ハザードマップに避難先を明示し広報している。避難誘導マニュアルは検討中	実施なし	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成を検討	作成を検討中	作成を検討する	・避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成について検討	引き続き検討予定	未実施	山間地の集落での作成を検討中

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		中野市		大町市		飯山市		千曲市		安曇野市		生坂村		池田町	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
2. ソフト対策②避難時間確保のための水防定															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化															
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・洪水情報伝達訓練の実施。	・洪水情報伝達訓練の実施。			防災行政無線を通じ、情報提供を実施している	防災行政無線を通じ、情報提供を実施している	実施なし	・総合防災訓練において、タイムラインの運用に合わせた訓練を含めて実施	連絡体制は確認済み、タイムラインを6月末に策定した。非常参集時の対応手順についても庁内で確認した	連絡体制を確認する非常参集時の対応手順を庁内で確認するタイムラインの活用を検討する	防災訓練で情報伝達訓練の実施	防災訓練で情報伝達訓練の実施	未実施	伝達訓練の実施を検討
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の合同巡視の実施	・例年どおり地域住民と関係団体が参加し、合同巡視を実施した。	・千曲川河川事務所が主催する巡視を合同で実施。	・重要水防区域はHP上で公開	・重要水防区域はHP上で公開	・重要水防箇所の点検を実施	・重要水防箇所の点検を実施	河川事務所と消防団で重要水防箇所等の共同点検を実施。	河川事務所と消防団で重要水防箇所等の共同点検を実施。	・出水期前に国や消防団等と重要水防箇所の合同巡視を毎年実施【H28年5月10日実施済】	同左	重要水防箇所等の合同巡視を実施	重要水防箇所等の合同巡視を実施	未実施	大町建設事務所等との連携を深めていく
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・例年どおり地域住民と関係団体が参加し、水防訓練を実施した。	・毎年、出水期前に、水防訓練及び排水ポンプ取扱い訓練の実施。	・5月に消防団総合演習を実施したが、本年は中継送水訓練を実施のため水防訓練未実施	・5月に消防団総合演習において実施予定	・出水期前に水防訓練を実施した(5月)	・出水期前に水防訓練を実施する(5月)	出水期前に水防団(消防団)の水防訓練を実施。	出水期前に水防団(消防団)の水防訓練を実施。	毎年、消防団員の教育訓練の項目として、県職員を講師に水防訓練(実技、改良積み土嚢工法等)を実施している【H28年4月24日実施済】	同左	・定期的実施	水防訓練等の定期的な実施	未実施	消防団員を中心に実施を検討
■水防活動の効率化及び水防体制の強化															
	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	・処遇改善・消防団員の割引制度・消防団協力事業所の優遇等、団員募集に積極的に取り組んでいる。	団員募集の積極的な取り組み。	・消防庁の「女性・若者をはじめとする消防団加入促進事業」を実施8,000人来場	・消防フェスタの開催・消防団協力事業所の更新、拡大	・消防団対策は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には取り組んでいる。	・消防団対策は現状維持だが、自主防災組織などの水防協力団体の強化には引き続き取り組む。	消防団員募集方法の整備	・消防団員の募集の強化サポートショップ等の活用など	消防団員の入団は通例4月1日だが、消防団員の募集の強化のため、平成26年度より、10月1日入団制を設けている【済】	同左	消防団員(水防団員)の募集強化	消防団員(水防団員)の募集強化	消防団員の入団を促進している	引き続き実施予定
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・5月21日中野市水防訓練の実施。	・消防団員や関係機関が参加する水防訓練を毎年実施予定。	・5月に消防団総合演習を実施したが、本年は中継送水訓練を実施のため水防訓練未実施	5月に消防団総合演習において実施予定	・毎年水防訓練時に水防技術の訓練を行った(5月)	・毎年水防訓練時に水防技術の訓練を行う(5月)	参加なし	・千曲川河川事務所管内で実施されれば参加	団員約100人が参加し、土嚢づくり、改良積み土嚢工法等を実施した	団員が参加する水防訓練を実施する	・消防団員による水防訓練の実施	消防団員(水防団員)による水防訓練の実施	未実施	講習会等の実施を検討
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	・地域の実情に応じ、水防倉庫の設置場所を検討する。	・地域の実情に応じ、水防倉庫の設置場所等の検討。			・設置済み(河川事務所、飯山市)	・設置済み(河川事務所、飯山市)							災害時の応急措置等に係る協定を2件締結、連携協定1件締結を進める	災害時の応急措置等に係る協定未締結の業者や団体との締結を進める
	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	・消防団に簡易デジタル無線の配備。	小電力トランシーバーの配備					携帯型デジタルMCA無線機の消防団等への配備	・配備済	月1回の無線交信試験を地域ごとに実施した	月1回の無線交信試験を地域ごとに実施する				

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		中野市		大町市		飯山市		千曲市		安曇野市		生坂村		池田町	
事項	内容	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛力															
	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施		・音声告知放送加入率向上のため、HP等により周知している。	・要配慮者利用施設に対し戸別受信機を貸与し、情報伝達手段の強化を図る。	・防災行政無線戸別受信機配備	・防災行政無線戸別受信機配備	・防災情報のメール配信システム整備済み	・防災情報のメール配信システムの運用を継続する			市福祉部で連絡体制を確立済み	市福祉部において連絡体制を確立する	要配慮者施設に防災無線、戸別受信機を設置	要配慮者施設に防災無線、戸別受信機を設置	
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動		・中野まなびい塾により、水害等に関する講座を実施する。	・企業からの要望を受け、水害対策等に関する講座を実施した。											
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回す															
■救援・救助活動の効率化に関する取組															
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施			・建設業組合と協定済 ・市内資機材取扱店舗と協定済	・建設業組合と協定済 ・市内資機材取扱店舗と協定済	・市庁舎が被災した場合の対応については今後の検討課題	・市庁舎が被災した場合の対応については今後の検討課題	・防災拠点として安心と安全を確保した新庁舎の建設工事中	・防災拠点として安心と安全を確保した新庁舎の建設工事中			・広域的に資材を運用するための協議、検討	引き続き協議、検討	災害時の応急措置等に係る協定を2件締結、連携協定1件締結	災害時の応急措置等に係る協定未締結の業者や団体との締結を進める
		・民間事業者との物資供給に関する協定を新たに締結した。	・建設業協会、資機材リース会社等と応援協定を締結し対応。			・建設業協会、資機材リース会社、測量業者との応援協定	・建設業協会、資機材リース会社、測量業者との応援協定の運用	建設業協会、資機材リース会社との応援協定	建設業協会、資機材リース会社との応援協定	現在、庁内で検討中	庁内で検討する	・道の駅において拠点等配置計画を検討中	引き続き検討予定		
■排水計画案の作成及び排水訓練の実施															
	①大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	・排水ポンプ1基購入。	・排水ポンプの適正な維持管理を実施。			・毎年1回の国、県とのポンプ排水訓練の実施	・毎年1回の国、県とのポンプ排水訓練の実施	出水期における可搬式ポンプのレンタル契約・設置(市内8箇所、15台)パッケージポンプ所有(3台)	・地域防災計画及び水防計画で対応	・消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。複数台の可搬ポンプにより中継送水訓練を毎年実施している。【済】	・消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。複数台の可搬ポンプにより中継送水訓練を毎年実施している。【済】	・消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。	・消防団配備の可搬ポンプにより排水活動を行う。	未実施	河床より住宅地等が高いため、排水ポンプ車の利用はあまり検討していない。
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	9月19日、20日台風16号による災害のため、消防団出動要請、排水ポンプ運用実施。	連絡体制の整備を引き続き実施予定。	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	水防連絡会にて連絡体制を確認	・連絡体制の整備	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	連絡体制の整備【引き続き実施】	未実施	連絡体制の確認
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施														

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		松川村		坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
事項	内容	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定
1. ハード対策の主な取組													
■洪水を河川内で安全に流すための対策													
	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策 ・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保												
■危機管理型ハード対策													
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強												
■避難行動、水防活動、復旧活動に資す													
	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備												
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置												
2. ソフト対策の主な取組①千曲川・犀川の犬													
■情報伝達、避難計画等に関する取組													
	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	エリアメールの配信を実施した。	エリアメールの配信を実施。	・上田ケーブルビジョンのL字放送活用【済】 ・さかきまちすぐメール（登録型メール）による防災情報の配信【済】	検討中	・個別受信機の更新対応（随時） ・デジタル化への素案策定	・防災行政無線のデジタル化へ順次移行	緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について住民周知を行う。	引き続きエリアメールの活用を行うとともに、H29.5から配信開始される洪水情報プッシュ型配信について住民周知を行う。	村HPに自動表示ウイジェットの導入完了（済）	H28導入済み	防災訓練において、発信訓練の実施	防災訓練において、発信訓練の実施
		防災無線での周知を実施した。	防災無線での周知を実施する。	・デジタル防災行政無線（同報系）の普及【H29年度予定で、H30年4月開局予定】に向け準備中	検討中	・受信条件、配信可能文字列等内容拡充に継続して取り組んだ	・サービス内容の拡充を継続して取り組む			同報拡声設備更新事業完了（済み）	H28導入済み	移動系防災無線についてデジタル化済み保守点検を実施	保守点検を実施
		今後検討予定。	今後検討予定。	・千曲川河川事務所と連携を図り、情報を提供いただくように希望する。	検討中	・水位情報共有及び情報を活用した住民支援体制の構築	・水位情報共有、情報活用した住民支援体制の構築を継続 ・プッシュ型情報発信について広報誌、地域懇談会等を活用した町民への周知	千曲川河川事務所に依頼に基づく河川情報の共有を行う。	千曲川河川事務所に依頼に基づく河川情報の共有を行う。 河川管理者等が提供している水位情報等の活用を周知する。	河川砂防情報ステーションの活用中	河川砂防情報ステーションの活用中	次年度以降に向け、訓練方法の検討	水位予測情報を活用した訓練を実施
	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善	今後検討予定。	タイムラインを検証した防災訓練等で活用する。	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの作成【H29.6月予定】に向け調整中。	検討中	・タイムラインを策定	・タイムラインの検証及び改善	策定に向けて検討	千曲川河川事務所の支援を得ながら引き続き策定に向けて検討する。	避難勧告等判断伝達マニュアルの作成（H26）運用中	避難勧告等判断伝達マニュアルの作成（H27）運用中	タイムラインの作成に向けた検討及び情報収集	タイムラインの作成に向けた検討及び情報収集
	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援												

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		松川村		坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
■情報伝達、避難計画等に関する取組													
	④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)												
	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	洪水ハザードマップにより浸水区域の確認と安全な避難所への移動方法について訓練を実施。	洪水ハザードマップにより浸水区域の確認と安全な避難所への移動方法について訓練を実施。			・ハザードマップの更新の際に素案を検討 ・自主防災会と連携した検討会を準備	・更新後のハザードマップを基本に、自主防災会との情報共有及び避難方法等の検討支援を継続	検討中	引続き検討する。			検討及び情報収集	関係区及び関係機関との意見交換により検討を進める
	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	県、関係市町村との会議で検討。	県、関係市町村との会議で検討し、協定内容を再確認する。	未実施	検討中	・準備中	・準備中、関係機関等との連携を継続	未実施	近隣市町村の状況により協議検討を行う。	H28中の連携要請は無かったが、近隣自治体から要請あれば引き続き対応する方向	H29要請あれば対応	計画策定に向けた検討及び情報収集	計画策定に向けた検討及び情報収集
	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	今後県と検討予定。	県と調整が必要がある場合はハザードマップを変更する。	・新たなハザードマップは作成し全戸配布済み。広域的な避難計画については実施に向け検討中。	検討中	・町単独でのハザードマップの更新をする(広域的な避難計画等の反映なし)	・当面、町単独でのハザードマップ情報周知を継続 ・広域的な取り組みについては、継続検討	H27年度更新したばかりのため検討のみ	引続き検討する。	H30までの更新を予定	H30年度更新できるよう資料整備及び・見積り書徴収	計画策定に向けた検討及び情報収集	計画策定に向けた検討及び情報収集
	⑧水位予測の検討及び精度の向上												
	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善												

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		松川村		坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
■平時から住民等への周知・教育・訓練に													
	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	なし。	関係区との協議を行う予定。	・河川管理者と町との合同巡視に自治会や地域住民の同行を計画するよう順次計画する。	検討中	・河川管理者と自治体等で共同点検を実施	・河川管理者と自治体等で共同点検を継続実施 ・自治会や地域住民への参加要請に努める	未実施	防災訓練行政区独自訓練の中で実施	H28中も地区懇談会でハザードマップを利用した危険度・避難計画の説明を実施。全地区での説明会完了後共同点検を検討する。	H29においてもハザードマップを利用した地区説明会を開催予定	次年度以降に向け、関係区と調整	関係区及び関係機関と共同点検の実施
	②小中学校等における水防災教育の実施	県防災アドバイザーによる中学でのコミュニティハザードマップづくり等を推進いただいた。	継続して県防災アドバイザーによる中学でのコミュニティハザードマップづくり等を推進する。	・出前講座の継続した開催【実施済み】	検討中	・中学校1年生に対し、水防災教育の授業を実施	・中学校1年生に対し、水防災教育の授業を継続実施	検討中	開催に向けて検討する。	実施なし	検討する	防災マップの配布	訓練に併せた水防教育の実施
	③出前講座等を活用し、水災害に関する説明会を開催			・説明会ではないが要望があれば順次実施する。	検討中	・地域懇談会の席上、水害等に関する説明実施 ・町防災訓練では、一部地域において建設事務所との連携により土砂災害について説明を実施	・地域懇談会で出前講座等を活用し、水害等に関する情報提供に努める						
	④まるごとまちごとハザードマップを整備			・未実施	検討中	・ハザードマップの更新をし、年度末までには全戸配布して周知を図る							
	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	浸水ハザードマップを活用した、村総合防災訓練の実施。	浸水ハザードマップを活用した、村総合防災訓練の実施。	・自主防災会の活動内容をアンケート調査し、結果を公表し、防災意識の向上を図った。【H27年度】アンケート集計結果を元に各自主防災会活動に活かしてもらう。	検討中	・5月29日総合防災訓練を実施(水防資料配布、過去の浸水高表示・確認行動)	・総合防災訓練を継続実施(水防資料配布、実践行動等) ・転入世帯に対し、ハザードマップ配布を行い意識醸成を図る	行政区区長会において防災研修会を実施	行政区区長会において防災研修会を実施	H28地区懇談会においてハザードマップ及び避難勧告等判断伝達マニュアルを利用した説明会を実施	H29地区懇談会においてハザードマップ及び避難勧告等判断伝達マニュアルを利用した説明会を実施	広報紙への情報掲載	広報紙への情報掲載
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	備蓄品等の購入支援の継続。	備蓄品等の購入支援の継続。	・自主防災組織として各々に組織されているので、活動の強化を図るための支援(自主防災会主催の訓練への協力等)を行っている。(今年度は上平区で避難訓練を実施済み)	検討中	・総合防災訓練に際し、自主防災組織で行動確認を実施した	・総合防災訓練を通じ、自主防災組織の充実に努める ・自主防災組織充実のための資料配布、町別懇談会で説明をする	防災訓練の中で、全行政区[自主防災組織]において、各自防災独自訓練を実施	防災訓練の中で、全行政区[自主防災組織]において、各自防災独自訓練を実施	H28については具体的な案が無かったが、次年度以降要請があれば組織要綱案等の資料提供と訓練の対応を予定している	地区要請があった際に素組織要綱案の資料提供及び防災資材購入の検討を行う	・消防団及び関係区、行政等が連携した防災訓練を実施	・消防団及び関係区、行政等が連携した防災訓練を実施
	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	避難所運営マニュアルの作成を実施。	避難所運営マニュアルによる実践的な訓練の実施。	・未実施	検討中	・準備中	・準備継続	未実施	ハザードマップ更新時に併せて実施できるように図る。	H26に配布した避難所マップにより各世帯毎の避難経路等の記載を呼びかけている	引き続きに配布した避難所マップにより各世帯毎の避難経路等の記載を呼びかけている	作成に向けた検討及び情報収集	作成に向けた検討及び情報収集

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		松川村		坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
事項	内容	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定	H28年度の取組状況	H29年度の取組予定
2. ソフト対策②避難時間確保のための水防活動													
■水防活動の効率化及び水防体制の強化													
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	村総合防災訓練の実施。(情報伝達)	村総合防災訓練の実施。(情報伝達)	・河川管理者と町、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。タイムラインの活用も今後検討する。	検討中	・総合防災訓練に際し、消防団及び職員への情報伝達訓練をメール配信により実施した	・日常的に連絡体制の整備(伝達手段の更新等)充実を図る ・総合防災訓練を通じて関係団体、関係者との実践的な訓練を継続する	防災訓練の中で実践的な情報伝達訓練を実施	防災訓練、水防訓練の中で実践的な情報伝達訓練を実施	H28防災訓練において村長が避難所開設指示及び炊出し指示を行い、各部署への伝達訓練を実施した	村防災訓練において災害対策本部長となる村長指示及び伝達訓練の実施	・防災訓練に併せて実施	・防災訓練に併せて実施
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所合同巡視の実施	なし。	関係区との協議を行う予定。	・重要水防箇所の情報共有・共同点検【済】	検討中	・国、県、町、消防団による重要水防箇所の現地調査	同左	実施に向けて検討	実施に向けて検討する。			次年度以降に向け、関係区と調整	関係区及び関係機関と共同点検の実施
	③毎年、関係機関が連携した水防実動訓練等を実施	なし。	消防団で訓練内容を検討する。	・消防団を対象に、年1回実施済み	検討中		・広域連携での水防実動訓練等の可能性を検討	隔年実施の水防訓練の中で実施【引き続き実施】	水防訓練を実施する。				
■水防活動の効率化及び水防体制の強化													
	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	加入者依頼のため家庭訪問の実施。	加入者依頼のため家庭訪問の実施。	・埴科消防協会事業として、団員募集CMを募り、しなの鉄道ディスプレイ等でH29.1.16～H29.2.15、H29.3.1～H29.3.15に放映し、募集を強化	検討中	・自治会長と連携し消防団員確保の取組を実施した	・自治会長と連携し消防団員確保の取組を継続実施	消防団員の処遇を改善する中で、募集を強化する。	引き続き消防団員の募集を図り、定員の充足を図る。	人員確保のため本年度から機能別消防団員制度を導入。分団においても退職年齢の引き上げ及び、組織改正の検討を行っている。	消防団員退職年齢の引き上げ及び機能別消防団員の加入促進を図り団員確保をする	・新規団員の加入強化	・新規団員の加入強化
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	今後検討予定。	消防団と連携した訓練を検討する。	・水防訓練の際に毎年実施済。	検討中			隔年実施の水防訓練の中で実施【引き続き実施】	水防訓練の中で実施する。	春の観閲式及び、秋の防災訓練において救助資機材車両と資機材による訓練実施	村防災訓練において土壌積み訓練を消防団員及び村職員で実施する。		
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施						・拠点等配置計画、検討準備					・配置について検討	・配置について検討
	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備												

○千曲川・犀川大規模水害に関する

項目		松川村		坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
事項	内容	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定	H28年度の実施状況	H29年度の実施予定
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛力向上													
	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	今後検討予定。	福祉部局との調整を進める。	・防災情報のメール配信システム整備	検討中	・庁内において準備中	・同左					・防災訓練において、要配慮者利用施設との情報伝達訓練を実施。	・要配慮者利用施設との情報伝達訓練を実施
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動												
2. ソフト対策③一刻も早く社会経済活動を回復													
■救援・救助活動の効率化に関する取組													
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	今後検討予定。	当面は防災備蓄倉庫の整備を進める。	・建設業協会等と協定済。	検討中	・検討を継続中 ・医療支援については、須高地域での広域連携を検討中	・検討を継続					・各種応援協定の締結	・各種応援協定の活用方法等を確認
■排水計画案の作成及び排水訓練の実施													
	①大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施			・訓練としては実施未定であるが、大雨により増水し、可搬ポンプで排水が必要な箇所は地元消防団も把握しており、過去にも実際出動して排水活動をした経過あり。	検討中	・地区の要望に応じて、予算の範囲内で可搬式ポンプを配備。排水活動訓練については各地区の判断で実施。【済】	同左	防災訓練の中の独自訓練にて内水氾濫排水訓練実施	H29年度内水氾濫訓練未実施予定			次年度以降に向けた訓練の実施等について検討	消防団と関係区が連携した排水訓練の実施
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	なし。	今後検討予定。	連絡体制の整備【引き続き実施】	検討中	連絡体制の整備【引き続き実施】	同左	防災訓練の中で整備できるよう検討	引き続き実施	H28具体的事案の発生は無かったが、連絡体制の整備は引き続き行う	連絡体制の整備は引き続き行う	連絡体制を確認	連絡体制を確認
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施												

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成29年3月現在

項目		北陸地整	気象台	長野県	市町村		
事項	内容				目標時期	対象市町村数	取組市町村数
1. ハード対策の主な取組							
■洪水を河川内で安全に流すための対策							
	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策	引き続き実施	○				
	・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保	引き続き検討	○				
■危機管理型ハード対策							
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	H28年度から順次整備	○				
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備							
	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	H28年度から検討	○				
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	H28年度から順次整備	○	○			
2. ソフト対策の主な取組							
① 千曲川・犀川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取り組み							
■情報伝達、避難計画等に関する取組							
	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	引き続き実施	○	○	17	17	100%
	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	順次実施	○	○	17	11	65%
	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	順次実施	○	○	4	1	25%
	④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	H28年度から順次実施	○	○			
	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	H28年度から順次実施	○	○	14	12	86%
	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	H28年度から検討	○	○	16	10	63%
	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	H28年度から順次実施	○		16	14	88%
	⑧水位予測の検討及び精度の向上	H28年度から検討	○	○			
	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	H29年度から実施		○			
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組							
	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	順次実施	○	○	17	10	59%
	②小中学校等における水防災教育の実施	引き続き実施	○	○	17	10	59%
	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	H28年度から実施	○	○	9	5	56%
	④まるごとまちごとハザードマップを整備	順次実施	○	○	12	7	58%
	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	○	○	17	13	76%
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	順次実施		○	17	14	82%
	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	H28年度から検討			17	11	65%

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成29年3月現在

項目			北陸地整	気象台	長野県	市町村		
事項	内容	目標時期				対象市町村数	取組市町村数	取組率
2. ソフト対策								
② 避難時間確保のための水防活動の取り組み								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組								
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○	○	17	13	76%
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	引き続き実施	○	○	○	16	13	81%
	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	引き続き実施	○		○	15	10	67%
	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	引き続き実施			○	17	17	100%
	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	引き続き実施	○		○	16	11	69%
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○		○	8	6	75%
	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	引き続き整備				4	3	75%
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組								
	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	H28年度から順次実施	○			12	10	83%
	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	H28年度から実施	○		○			
2. ソフト対策								
③ 一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み								
■救援・救助活動の効率化に関する取組								
	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○			14	13	93%
■排水計画案の作成及び排水訓練の実施								
	①大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	引き続き実施	○		○	15	13	87%
	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	引き続き実施	○		○	17	13	76%
	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	○		○	1	1	100%